

## 総合計画策定の趣旨

総合計画は、まちづくりの目標や施策推進の方向を示す最上位の計画です。現在、第三次吉野町総合計画において、まちの将来像を「しあわせ工房・吉野町 民主主義を基盤に、新しい時代を創造する」と定め、諸施策を実施してきたところですが、その第3次総合計画は平成22年度に目標年次を迎えます。

また近年、地方分権改革の流れが本格化する中で、自治体自らの判断と責任のもと、自主的かつ自律的な行財政運営が求められるようになりました。一方で、それを支える本町の財政環境はより厳しさを増し、過疎化・少子高齢化による人口の減少も重なり、地域活力の減退が危惧されているところです。

この難局を乗り切り、本町が持続的発展を目指すために、大きく変化する時代の潮流や多様化する住民ニーズを的確に捉え、本町の目指すべき将来像やそれを実現するための施策の大綱をまとめ、行財政基盤の充実を図るとともに、地域の活性化を進めるための施策やまちづくりの方針となる総合計画を策定する必要があります。